

10.九州（地域別調査機関：（財）九州経済調査協会）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
家計動向 関連 (九州)	良く なっている	コンビニ(店 長)	来客数の動き	・夏休み中は来客数が増加し、売上が上がっている。	
		通信会社(販売 部)	来客数の動き	・夏の割引施策内容が家族での購入を条件にしている こともあり、家族同時の購入を検討する客が急増し た。	
	やや良く なっている	一般小売店〔精 肉〕(店員)	それ以外		・来客数、販売量共に増加傾向にある。
		百貨店(業務担 当)	お客様の様子		・夏物の処分期であるが、立ち上がりの時期に雨が 多く、実売期が後ろにずれているせいもあり、未だに シングルや冷感商品の動きが良い。夏は長いという体 験からか、処分期とは言え、夏物商材の動きが去年 より良い。
		スーパー(店 長)	販売量の動き		・3か月前と比べると来客数は増えている。買上 点数が前年比3%増まで上昇し、客の購入量も増 えている。
		スーパー(経 理担当)	販売量の動き		・春先から徐々に売上の前年比が向上している。 特にお盆期間中は販売量が伸び、オリンピックの 盛り上がり夏場需要を押し上げている。
		スーパー(業 務担当)	お客様の様子		・先月と比較して大きな変動はみられないが、 飲料や生鮮食料品を中心に、盛夏材料の動きが 安定している。衣料品も低価格競争が一段落し、 夏物処分品の動きも良い。ただ全体的な売上の 底上げには至らない。
		コンビニ(エ リア担当・店 長)	来客数の動き		・近くで建物の工事があり、その影響で来客 数が伸びている。
		家電量販店(企 画・IR担当)	単価の動き		・季節商材のエアコンの販売量が伸 長し、客単価が3か月前と比べてわずかでは あるが上昇している。
		その他小売の 動向を把握できる 者〔ショッピング センター〕 (支配人)	販売量の動き		・6月下旬にリニューアルし、来場者数、 売上共に好調に推移している。
	住宅販売会 社(代表)	来客数の動き		・来客数は昨年よりも増えている。さら に市のリフォーム支援事業やフラット35 Sエコの期限が迫ってきていること、 消費税増税前の駆け込み需要が影響し、 景気は良くなっている。	
	変わらない	商店街(代 表者)	販売量の動き		・これ以上悪くはならないが、一向に良 くなる兆しはみられない状況である。
		商店街(代 表者)	お客様の様子		・3か月前は梅雨時期で客の動きは良 くなかった。今は例年あまり売れない時 期ではあるが、コンスタントに客は買 物をしている。買物金額等に違いはあ るが、購入する客の姿勢はあまり変 わらない。
		商店街(代 表者)	来客数の動き		・取扱商品によって、売上にばらつき がある。婦人服のバーゲンが猛暑続き で売上が振るわない。また、例年通 り8月中旬より秋物を展開しているが、 売行きがいま一つである。しかし、 バッグ等の小物の販売は前年より伸 び、好調である。
		百貨店(売 場主任)	お客様の様子		・オリンピックが終わり、来客数は増 加したが、相変わらず必要のない物 は購入しない。価格がクリアランス 最終価格でもっとも安いこの時期 でも購買に至らない。
		百貨店(営 業担当)	来客数の動き		・来客数は前年を下回ることも、大 きく上回ることもない。半年前と比 べると決して悪くはない状況であ る。
百貨店(営 業統括)		来客数の動き		・残暑厳しいなか、オリンピックや 節電、ゲリラ豪雨等の乱天候により、 婦人高齢者の買い控えがある。	
百貨店(営 業政策担 当)		来客数の動き		・来客数は継続的に前年の水準を 維持しているが、週ごとに一進一 退の状況が続いている。	
スーパー(店 長)		販売量の動き		・単価、販売量共に大きな変動は ない。酷暑と夕方の大雨で客の出足 が良くない分が多少売上に影響して いる。果物等に対しても購買意欲が 低く、単価が低下している。	

スーパー（店長）	競争相手の様子	・5月にオープンした競合店の来客数は5月が前年比7%減と落ちたが、6月が同5%減、7月が同3%減、8月が同2%減と順調に元に戻っている。客単価は前年比1%増、また1品単価も同3%増で推移しており、来客数が増えれば前年をクリアする状況となっている。
スーパー（店長）	来客数の動き	・8月は、今年になって初めて来客数が前年を上回った。景気は上向き傾向とも考えられるが、これは梅雨明けが7月末にずれ込んだことで、8月に夏物が非常に売れたという昨年と違う要因があったためである。しかしながら、景気は悪化していないと考えられる。
スーパー（店長）	販売量の動き	・競合店の出店等もあり、価格競争をはじめ、状況は厳しくなっている。
スーパー（総務担当）	それ以外	・今月に入って気温の上昇に伴い、衣料品や住居用品、食品の売上は好調となっている。ただ、一過性の可能性が高い。
スーパー（売場担当）	お客様の様子	・夏休みに入って気温が高く、天候も良かったため、来客数は多かった。
コンビニ（エリア担当）	競争相手の様子	・大手コンビニの出店が激しく、売上が大幅に減少している。新店へ客が動き、厳しい状況が続いている。不景気で客の財布のひもは固く、必要な物だけ購入している。客単価は下がり、厳しい状況が続いている。
コンビニ（販売促進担当）	販売量の動き	・今月末の実績は、前年比3.5%増となった。前月は極端に悪かったが、3か月前と比べるとほぼ横ばいの販売数量となっている。
衣料品専門店（店員）	単価の動き	・セールスタートが遅かったせいか、8月に入ってもセール品しか売れず、定価品の売上が前年を下回った。前月に引き続き昨年割れとなった。
衣料品専門店（取締役）	お客様の様子	・例年8月は売上が低い月である。セールは終盤となり、秋物の立ち上げを行うが、非常に不安定な状況である。残暑や酷い雨等も状況を左右している。さらにセールに飽きてきた消費者と秋物はまだ早いという消費者が混在し、厳しい月である。
家電量販店（総務担当）	販売量の動き	・季節商材に若干の動きがみられたが、全体的には前年比20%減の状況が続いている。
住関連専門店（経営者）	競争相手の様子	・毎月のキャンペーンの動きは春先より良くないが、店舗での販売高は横ばいとなっている。同業者の話では、地域によっては九州北部豪雨の復興事業が存在するところもある。
その他専門店 [コーヒー豆] (経営者)	販売量の動き	・例年7、8月は夏のコーヒー需要が高まる。お中元のギフトシーズンは前年と比べると、販売量、客単価共に横ばいの状態となった。
その他専門店 [ガソリンスタンド] (統括)	販売量の動き	・燃料油の小売価格は安定している。夏場の行楽等の需要に燃料油の増販を期待したが、売上は昨年並みである。客の様子をみると、消費マインドはこの数か月あまり変化がない。
その他小売の動向を把握できる者 [土産卸売] (従業員)	単価の動き	・東日本大震災後の8月の売上と今年の8月の売上はさほど変わらない。来客数は伸びているが、客単価が下がっている。
その他小売 [ショッピングセンター] (広報担当)	来客数の動き	・消費を取り巻く環境は、電力問題や消費税増税問題、政治問題、外交問題等があり、現状ではまだ回復基調ではない。
高級レストラン（専務）	来客数の動き	・郷土料理店はお盆や夏休みで来客数が増えている。また、特定の日だけではなく、平均的に良い。昨年と変わらないかそれより少し多い。
居酒屋（経営者）	来客数の動き	・平日の客入りにはムラがあるものの、予約は入ってきている。しかし良い方向に向かっているといえる程のものではない。
観光型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・昨年は東日本大震災により、九州への旅行者が増加した。今年は東京スカイツリーの開業や東北地方への誘致が強化されたため、旅行者が減少すると思われたが、昨年以上の取り込みができた。
タクシー運転手	お客様の様子	・今年は非常に暑い夏だったので、タクシー利用客は増えるはずであるが、あまりの暑さに外に出ない客が多く、売上は横ばいであった。
通信会社（管理担当）	それ以外	・債権が回収できず、資金繰りが厳しい。

	通信会社（業務担当）	販売量の動き	・8月も7月同様、夏のキャンペーンで新商品発売があり、スマートフォンを中心に携帯販売台数は新規契約、買換え共に増加している。スマートフォン関連商品のアクセサリやソフトの売上も好調である。
	通信会社（総務局）	販売量の動き	・景気が上向き好材料もなく、個人消費は相変わらず低迷している。
	理容室（経営者）	お客様の様子	・売上から判断すると、一時的に今月は良かったが、景気が良くなっているという数字の伸びはない。
	美容室（店長）	単価の動き	・3か月前より来客数は多いが、単価が低い。店頭商品の販売は思うようにいかず、売上にあまり変化がない。
	音楽教室（管理担当）	来客数の動き	・8月は転勤月ではないので、生徒の変動はあまりなく、景気は変わらない。
	設計事務所（代表）	単価の動き	・客の様子や受注状況をもても、状況は例年と変わらない。
	住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・仲介からマンションの販売、住宅戸建の販売を行っているが、売れる物件については非常に売行きが良い。業界は住宅用地の動きが非常に良く、景気は持ち直している。
やや悪くなっている	商店街（代表者）	お客様の様子	・今月も猛暑が続き、また台風等の影響で客足が鈍っている。商店街では空調設備がないため、客の買物時間が短く、通る客が少なくなっている。涼しいスーパーでタイムサービス等の販売促進策もあり、客が取られているのが現状である。
	商店街（代表者）	お客様の様子	・連日の猛暑で、午後からの来客が急激に減少している。夏物バーゲンもお盆前までは順調に推移していたが、お盆過ぎからは値下げしても勢いはない。
	商店街（代表者）	来客数の動き	・8月の初旬に大きな祭りがあるが、7月の九州北部豪雨の影響で来街者が少ない。
	一般小売店【茶】（販売・事務）	販売量の動き	・厳しい暑さと景気低迷により、前年に増してお中元、法事の返礼品の売上が少なかった。単価も来客数も減少しており、外販についても注文がかなり減っている。周りの店舗も空気が目立っている。
	百貨店（営業担当）	単価の動き	・婦人雑貨や装身具、リビング用品でクレジットや得意客の売上に回復の兆しがみえるが、来客数の減少は継続している。買上単価も少しずつ下がっている。雨や降灰による外出意欲の減退と粗品等のお得感のないDM催事により、来客数は減少している。
	百貨店（営業担当）	お客様の様子	・8月は端境期であるが、昨年に比べると秋物の動きが鈍く、特にミセス関連の動きが悪い。若者の秋物衣料の動きはそこまで悪くないが、年配のファッションの動きが悪く、厳しい状況である。
	百貨店（企画）	販売量の動き	・天候等の影響で、例年より売上は若干後ろ倒しになっている。
	百貨店（売場担当）	販売量の動き	・5月の売上は前年比7.6%増、今月は同3.8%増となった。2つの同業他店をみると、1店は5月が前年比2.7%増、今月は前年並みである。またもう1店は5月が前年比3.2%増、今月が同2%増となっている。軒並み5月よりは若干低くなっている。5月に比べると、婦人ミセスの売上の伸び率が約10%落ち、住環リビング系も15%、食品は約2%落ちている。
	スーパー（経営者）	来客数の動き	・東日本大震災の影響は残り、依然、客の買い控えが目立っている。
	スーパー（店長）	来客数の動き	・今年はお盆の帰省客が少ないのか、店内は例年のにぎわいが少ない。お盆を避け、人が集中しないような時期に休みをとる等夏期休暇時期は分散傾向にある。お盆の過ごし方も以前と変わっており、節約ムードである。また、中元ギフト等も送料無料や割引セールといった物により強く反応する傾向がみられる。
	スーパー（総務担当）	来客数の動き	・購買点数に大きな変化はないが、来客数の微減が止まらない。競合他社との客争奪合戦が激化している。また低価格だけでは、来客数を維持するのが困難な状況となっている。
	衣料品専門店（総務担当）	お客様の様子	・今夏、異常な猛暑とセール開始時期のバラつきにより、本来売れる夏物が大きく動かない。一方、秋物については全く動きがみられない。客がどういう方向に向かっているのかが読めない状況である。
	衣料品専門店（チーフ）	お客様の様子	・衣料品は衣替えシーズンを迎えるが、やや購買意欲の低下がみられる。

	乗用車販売店 (従業員)	来客数の動き	・エコカー補助金の終了が迫り、客の来店が減り、受注が少なくなってきた。
	乗用車販売店 (総務担当)	販売量の動き	・エコカー補助金の終了が迫り、受給対象にならない車種が増えた影響で、今月は新車受注台数が大幅に減少した。
	その他専門店 [書籍](地区 支配人)	販売量の動き	・隣接する競合店の影響で販売量に伸びが感じられない。イベント力の違いや商業施設間の競争があり、来客数の減少も同時に進行するため、販売量は前年に達していない。その傾向がここ数か月継続している。
	高級レストラン (支配人)	来客数の動き	・来客数が前年比でマイナスとなっている。
	都市型ホテル (副支配人)	単価の動き	・旅行者の団体客の動きが良い。
	旅行代理店(従業員)	販売量の動き	・夏休み旅行は、早期特典や割引を利用した予約が増え、値段が上がる間際の予約が弱い。今月は前年をやや下回る。
	旅行代理店(企画)	販売量の動き	・領土問題の報道を受けて、韓国、中国を訪問する客が微減となっている。また、7月の九州北部豪雨の影響がまだ残っており、域内の宿泊が伸び悩んでいる。
	タクシー運転手	来客数の動き	・今月前半はオリンピックがあり、どちらかと言えば動きが悪く、夜の動きはさっぱりなかった。オリンピックが終了し、かなり盛り返したが、また後半いくらか悪くなった。特に昼間の動きが悪くなった。
	タクシー運転手	お客様の様子	・今年天候不順で人の動きが悪い。タクシーの動きも昼、夜通して悪い。
	タクシー運転手	来客数の動き	・今月は市内でいろんなイベントがあるものの、天候の影響で客の出入りが全くと言っていいほどない。またタクシー業界も今月の売上は昨年の7割しかなく、大変悪かった。
	通信会社(企画 担当)	販売量の動き	・競争が激しくなっており、値下げ競争に起因して販売量が落ちている。
	ゴルフ場(従業員)	単価の動き	・今月は前年に比べると良い成績で、前年比30%増となっている。ただこれは低い水準である。客は以前から入っていた客の予約だけで、平日は閑散たるものである。また、夏場の暑さや他のゴルフ場の単価が非常に安くなっており、厳しい状態である。
	ゴルフ場(支配人)	来客数の動き	・夏の猛暑に加え、台風や雷を伴う雨が例年以上に降っており、来客数が伸びない。10時以降スタートの予約もあまり入らない。ゴルフ場間の値下げ競争も底値がみえず、採算を無視して集客数確保に走るゴルフ場もあるため、厳しい経営が強いられる。
	美容室(経営者)	来客数の動き	・来客数が例年と全然違う。創業してから長いけど、ここまで美容室が増えたと常連客が常連客ではなくなる。それをカバーするために広告を打っているが、かける広告費の割には客が集客できていないのが現実である。
	その他サービスの動向を把握できる者[介護サービス](管理担当)	来客数の動き	・夏の残暑と節電により、体調を崩し入院する高齢者が多く、利用者が減少している。
悪くなっている	商店街(代表者)	来客数の動き	・景気はとても悪くなっている。今月は特にオリンピックや高校野球、お盆等が影響している。さらに猛暑が続き、人が外を出歩かない。
	一般小売店[青果](店長)	それ以外	・お中元シーズンの7月末から8月お盆までは、昨年よりかなり数字が悪い。相場も昨年の7~8割にとどまっており、販売量も前年比7~8割位とかなり厳しい状態にある。加えて、夏場の地元野菜が少なく、利益率はかなり悪い状況である。
	一般小売店[鮮魚](店員)	競争相手の様子	・同業者の話聞いても来客数が少ないと言う。日中が非常に暑いこともあり、客が本当に少ない。
	一般小売店[生花](経営者)	販売量の動き	・8月は母の日等がある5月よりも売上が落ちるが、葬儀やお供えの花、まれに開店祝い等の花等の利用があったため、今年は思ったほど悪くならず済んでいる。
	衣料品専門店(経営者)	お客様の様子	・当店で開催していた100周年イベントの反動で今月は落ち込んでいる。
	衣料品専門店(店長)	来客数の動き	・商店街の改装に伴い、道路作成中につき来街者が少ない。

		衣料品専門店 (店長)	お客様の様子	・以前であれば誕生日等、自分へのプレゼントとして、客は洋服等を購入していたが、今はその気にならないようである。もしくは少し考えてからという客が多く、購買意欲が低い。
		高級レストラン (経営者)	来客数の動き	・8月は3か月前に比べてすごく悪かった。当店の動きは過去数年の8月の中でも一番悪かった。
企業 動向 関連 (九州)	良く なっている やや良く なっている	-	-	-
		輸送用機械器具 製造業(営業担 当)	受注量や販売量 の動き	・9月までは当初計画に対して増産傾向である。
		建設業(社員)	競争相手の様子	・手持ち工事が増え、技術者が不足している企業が多い。入札には参加するが、最低限のぎりぎりの入札ではなく、高い入札金額で応札している参加業者が増えている。
	変わらない	農林水産業(経 営者)	受注量や販売量 の動き	・8月は連日の猛暑でビールの消費に比例して居酒屋関係等で売上が若干伸びた。スーパーでは生食製品も新製品等の提案で少しは戻っている。ただし、春先好調であった冷食加工メーカー向けの原料肉の納品がかなり厳しい。
		農林水産業(従 業者)	受注価格や販売 価格の動き	・生乳関係の生産から販売までをやっているが、やはり販売は非常に単価が低く、厳しい。消費動向は厳しい状況である。
		家具製造業(従 業員)	受注量や販売量 の動き	・8月は夏休み等もあり、家具の出荷は毎年低調で、全体の売上指数としても70~75程度の月である。今年も変化はない。秋に向けての需要予測が同業者、問屋等からチラホラと話が出ているが、前年並みである。
		出版・印刷・同 関連産業(営業 担当)	取引先の様子	・九州北部豪雨の影響により、商品の動きが鈍くなっている。
		電気機械器具製 造業(経営者)	受注量や販売量 の動き	・受注量や販売量がある一定程度続いている。ただ納期の厳守や品質の良さ、コスト訴求への対応等ができることが求められている。非常に企業努力が必要で、これから先どれくらい企業力を向上させるのかが決め手となる状況である。
		精密機械器具製 造業(従業員)	受注量や販売量 の動き	・依然として、生産計画数量が変わらない状態が続いている。先月同様、受注量が減少したままである。
		輸送業(総務)	受注量や販売量	・荷動きは良くない。
		通信業(経理担 当)	それ以外	・ガソリン価格がまた上昇している。インフレでもないのに物価の状況がよく掴めない。客の収入は減少していることは間違いなく、厳しい状況が続く。
		金融業(従業 員)	受注量や販売量 の動き	・エコカー補助金の再導入により、自動車販売台数が増加しているほか、有効求人倍率が上昇基調にある等、労働需給が改善傾向を示している。一方、百貨店やスーパー等では大雨、洪水等の影響もあって、売上が伸び悩んでいる。
		金融業(営業担 当)	取引先の様子	・中小企業の設備投資は低迷したままである。前向きな資金需要は少ない。
		金融業(調査担 当)	取引先の様子	・心配されていた計画停電によるマイナスの影響は限定的であり、中小企業金融円滑化法が来年3月まで延長し、取引先の資金繰りに対する大きな影響はない。
		金融業(得意先 担当)	取引先の様子	・景気動向については大きな変化はみられない状況にある。各企業は現時点でできる範囲内で経費削減を行っており、当面の資金繰りは確保している状況である。前向きな資金事情による借入や資金調達はまだない。ただし、現在遊休地を活用した太陽光発電に関する設備投資の案件相談が、当店も含めて他店でも数多くみられる。当面、現在の状況が続く。
		経営コンサル タ	受注量や販売量 の動き	・コンサルタント業務に関して営業をやっているが、なかなか成約に結びつかない。これは最近の特徴だ。
		経営コンサル タ(代表取締 役)	受注量や販売量 の動き	・客の話ではあるが、九州新幹線全線開業効果が一段落し、昨年より若干悪い。また、先月の九州北部豪雨の影響がまだ残っている。飲食店やタクシー業者からよく聞くのは、官公庁等で飲食に出る機会がかなり減っていることや開始時間が前倒しになり、夜11時前には解散する状況が多くなっている。
経営コンサル タ(代表取締 役)		取引先の様子	・取引先に最近の業績についてヒアリングすると、改善している会社もあれば悪化している会社もあり、全体的にみると大きな変化がみられない。	

	やや悪くなっている	食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・原料の季節的な端境期で製造量が落ち込む時期であり、予測の範囲内である。	
		繊維工業（営業担当）	競争相手の様子	・この時期例年では忙しいはずが、自社でも、同業者でもそうではない。海外では絶対に間に合わないような緊急の、なおかつ難しい仕事だけが回ってくる。クールビズが悪い影響を及ぼしている。	
		窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・8月前半は非常に受注、売上共に最低の状態であったが、お盆過ぎになって大口の特注が入り、忙しくなった。秋口には景気は上向くのではないかと期待している。	
		一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量が減ってきている。	
		一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・ほとんどの分野において、設備製作の受注が停滞している。例年、お盆明けに受注が増えるが、今年は増えていない。	
		輸送業（総務担当）	取引先の様子	・預かっている荷物が動かない。例年と違って非常に荷動きが悪くなっている。	
		金融業（営業）	取引先の様子	・8月はお盆休みもあり、製造業は低調だった。例年のことでもあるが、9月以降の受注も不透明となり、景気は低迷している。	
		新聞社（広告）（担当者）	受注価格や販売価格の動き	・広告売上をけん引してきた通信販売の売上が前年比で半減し、全体で同10%減となっている。節電もあり、積極的な広告出稿の動きがない。	
	悪くなっている	その他サービス業〔設計事務所〕（代表取締役）	競争相手の様子	・市町村の発注する様々な調査や計画等の委託業務について、指名競争入札の場合、予算の4割前後の価格で入札されることが常習化している。これでは、人件費や経費で消化し、利益が出ない構造になる。	
雇用関連 (九州)	良くなっている	-	-	-	
	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・労働者派遣法の改正を受けて、自社雇用を促進する企業が増え、人材紹介の案件が増えた。	
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・業種によって非常に差があるが、増員の注文や欠員に対する注文が増えている。以前は、欠員になったら残りの人数で対応していたが、今はそうではなくなっている。	
		職業安定所（所長）	求職者数の動き	・新規求人数は前年比17.6%増と伸びてはいるが、ほとんどの職種でパートが伸びており、求職者が求める正社員求人は少ない。新規求職は微減し、就職者は微増にとどまっている。	
		学校〔大学〕（就職支援業務）	求人数の動き	・昨年度の求人数は前年を若干上回ったが、今年の求人数は、昨年7月末現在を更に上回っている。	
		学校〔専門学校〕（就職担当）	求人数の動き	・システム系やホテル、エアライン、トラベル等の観光系の求人数は前年比5%以上伸びている。内定率も前年比8%以上伸びている。ここ数年の採用抑制の反動との見方もあるが、明らかに業務拡大に伴う人材不足、採用増加がみられる。	
	変わらない		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・企業の求人数の動きが堅調である。
			人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・繁忙期の受注は少なく、社員交代及び産休育休代替としての派遣依頼が多い。
			求人情報誌制作会社（編集者）	求人数の動き	・ある中小企業の食品メーカーでは、こここのところ人の採用がうまくいかない。広告を打っても反応が少ないので、賃金の見直しや賞与支給等の待遇面の見直しを進めている。冬の繁忙期に備えて、これから準備を行い、手配の遅れがないようにしたい。
			新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・正社員求人数が上向きにならない。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・求人の業種及び職種が昨年より多岐になっており、わずかだが求人市場に活性化の動きがみられる。	
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・猛暑で夏季需要は多く、節電等の影響も少なかったため、景気が悪かった印象はない。ただ、良かったという感じもない。	
		職業安定所（職員）	それ以外	・新規求人数は前年比で増加はしているものの、スーパー等の小売業のパート求人の増加が主たる要因である。基幹産業である建設、製造業等での求人は減少している状況であり、景気が回復している状況ではない。	
やや悪くなっている	人材派遣会社（営業）	求人数の動き	・求人総数は変わらないが、交替求人が増加し、新規での求人数は減少傾向にある。		

	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人は2か月連続で前年をわずかではあるが下回っており、今後も大幅な増加は見込めない。
	民間職業紹介機関（社員）	求人数の動き	・お盆休みで客の休みが続き、派遣依頼が減少した。イベント等の単発の注文も少ない。労働者派遣法改正の影響についての問い合わせも少ない。
悪く なっている	民間職業紹介機関（支店長）	求人数の動き	・契約終了後の後任、増員需要がほとんどなく、求人数が減少し続けている。